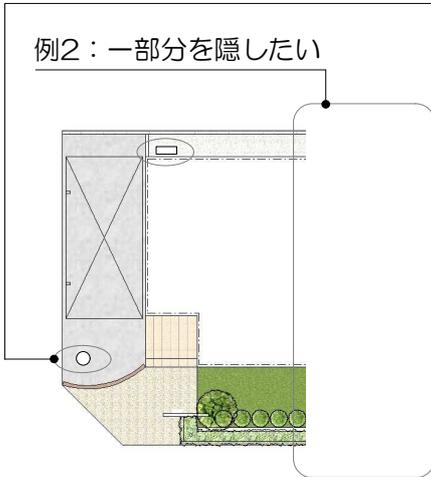


補助線を面に変換して印刷する方法

補助線を印刷できる面に変換する方法です。

例1：室外機やマスなど平面表記

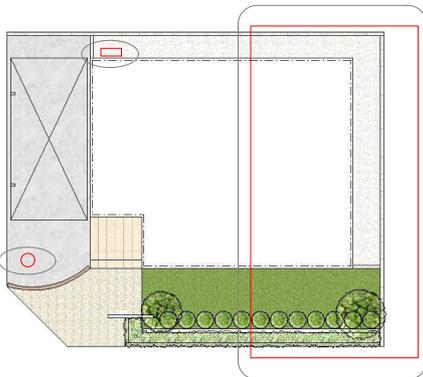
例2：一部分を隠したい



補助線で描いた形状を、面に変換し平面表記に必要な図形を記載する方法です。

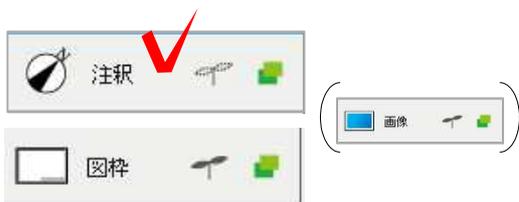


① 補助線レイヤを選択します。



② 平面表記したい図形を補助線で描きます。（補助線が一筆描きでつながっている多角形もしくは円、楕円であること）

③ 描いた補助線を選択します。



④ 注釈レイヤ、図枠レイヤ（画像レイヤ）いずれかのレイヤを選択します。

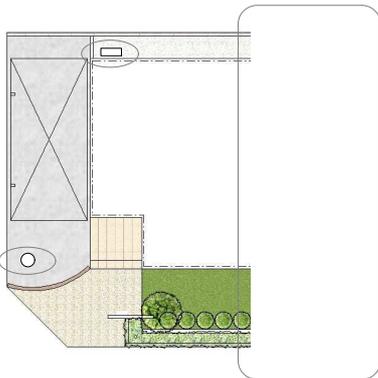


⑤ 画面右側の「補助線⇒線」のボタンをクリックします。



- ⑥ 注釈面の設定を編集できます。
それぞれクリックで設定ができます。
- ・面の色/線の色…濃いグレーは「H4番」
 - ・線の太さ…基本3ミル

※平面図の一部を隠す面を作成する場合は線の色を白、太さを1ミルに設定します。



- ⑦ 選択したレイヤに面が作成されます。



【描いた面で注釈が隠れた場合】

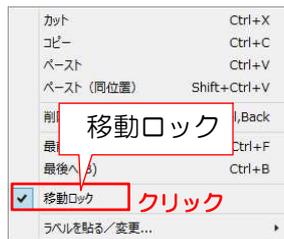


面に変換した図形を右クリックして「最後へ」をクリックします。

選択図形の優先順位が一番後ろになります。



【描いた線がずれる。】



もう一度図形を右クリックして「移動ロック」をクリックします。

移動ロックのチェックが外れ、解除されます。



参考 [移動ロック]を検索